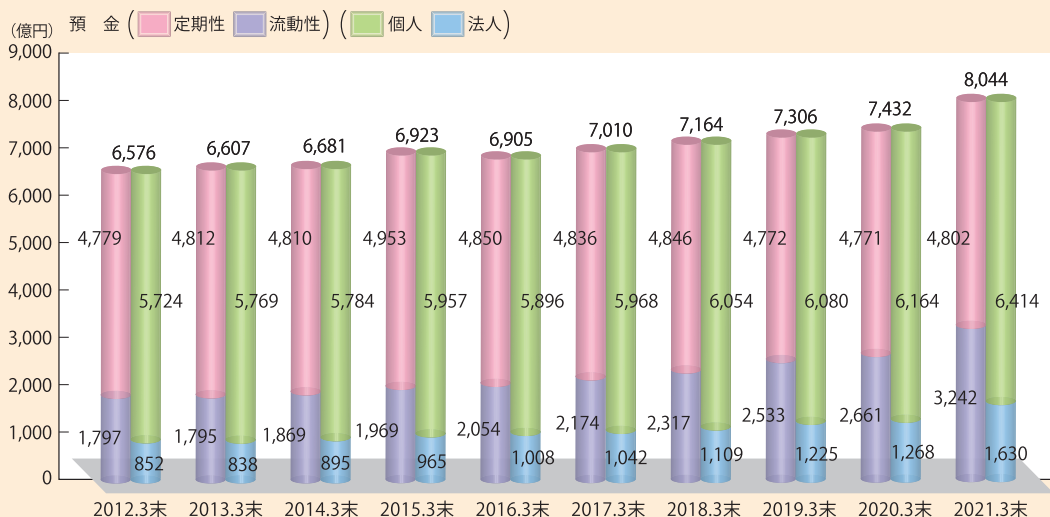


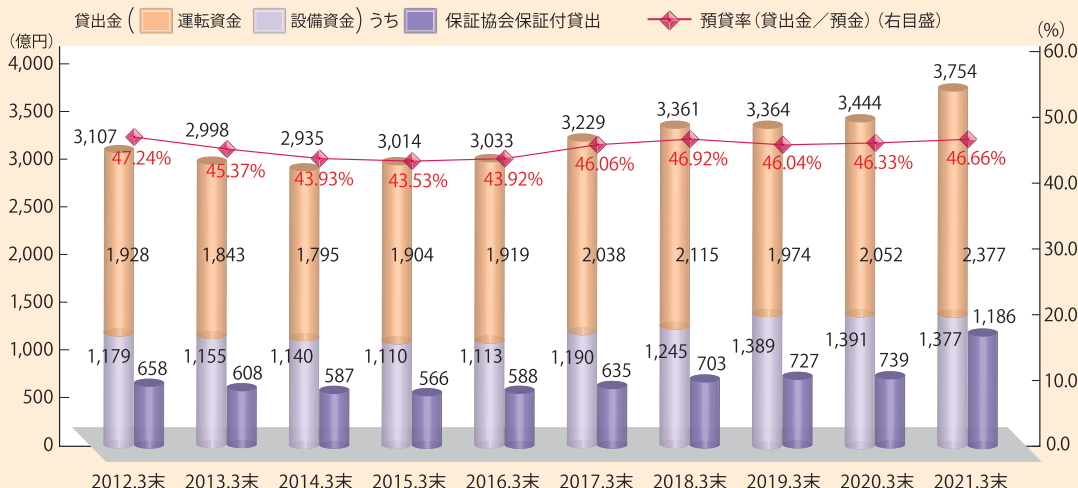
2021年3月期 決算の概要

● 預 金



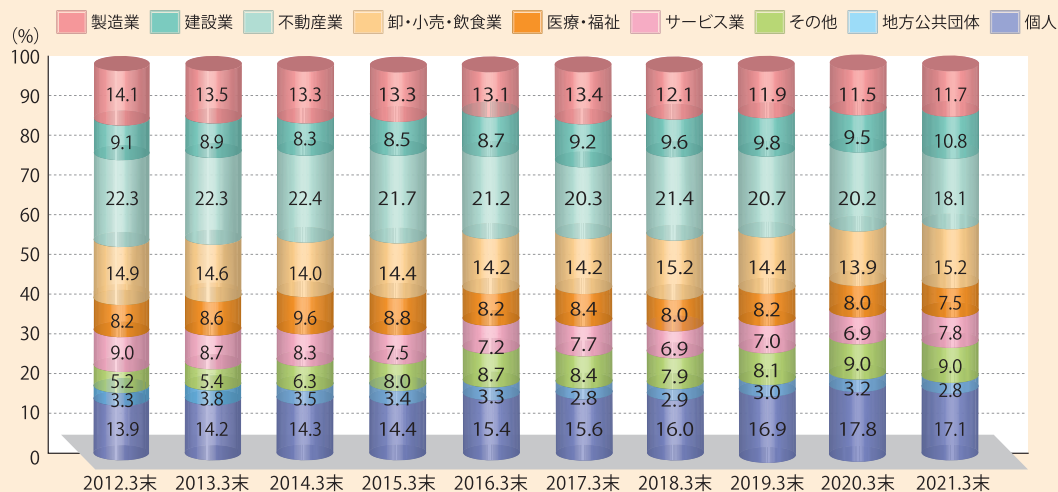
預金は、2020年3月末に比べて612億円増加し8,044億円となりました。期末預金残高は過去最高となりました。定期性預金は微増となり、流動性預金は大幅に増加となりました。これは、新たなお客さまが増えたことに加え、新型コロナウイルス関連融資の滞留金や持続化給付金・特別定額給付金の滞留金が増えたことが主な要因です。今後もお客さまの様々なご要望やご意見にできる限りお応えし、皆さまに喜ばれるサービスを目指してまいります。

● 貸出金と預貸率



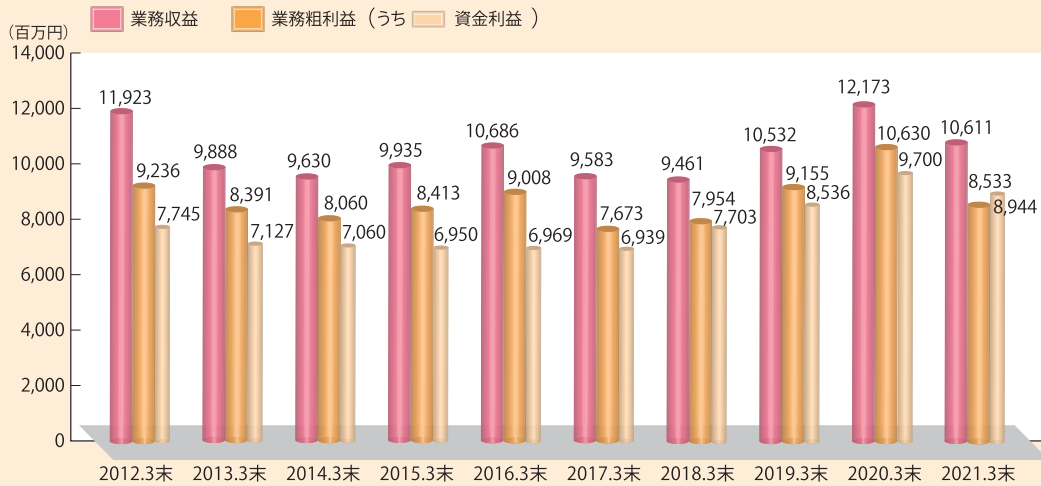
貸出金は、2020年3月末に比べて310億円増加し3,754億円となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、お客さまの資金繰り支援に積極的に取り組んだ結果、保証協会保証付貸出等の事業性貸出金が278億円増加したことが主な要因です。また、預貸率は0.33ポイント増加しました。これは貸出金の増加率が預金の増加率を上回ったためです。今後も地域の皆さまがかかえておられる課題の解決に全力で取り組み、適切で円滑な資金提供に努めてまいります。

● 貸出金の業種別構成比の推移



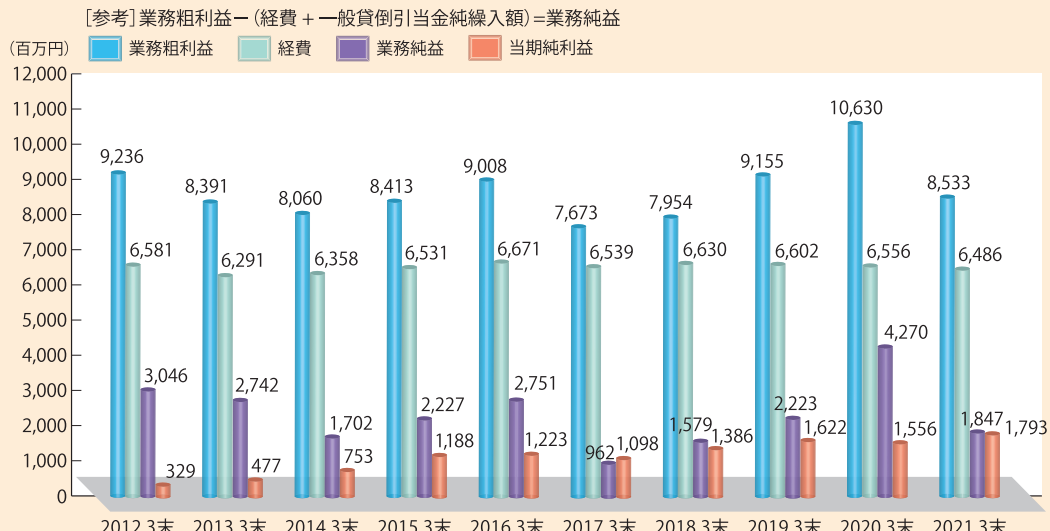
貸出金の業種別構成比の推移をみると、2020年3月末に比べて建設業、卸・小売・飲食業で1.3ポイント、サービス業で0.9ポイント、製造業で0.2ポイント増加し、新型コロナウイルス関連融資を必要とされた業種が大きく伸びました。それに反して、不動産業で2.1ポイント、個人で0.7ポイント、医療・福祉で0.5ポイント、地方公共団体で0.4ポイントの減少となっています。個人向けの貸出金の構成比が減少していますが、これは住宅ローンの増加の割合に比べて、新型コロナウイルス関連融資による事業性貸出金の増加の割合の方が大きいことによります。

●業務収益、業務粗利益(うち資金利益)



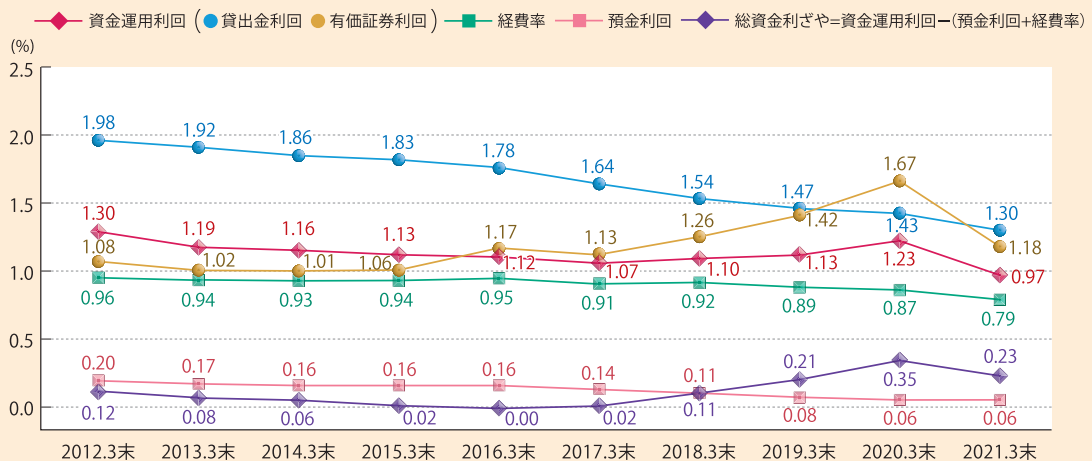
業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役員取引収入等)は、一般企業の売上に当たります。貸出金利息収入や有価証券利息収入が減少し、債券からの益出しを控えたことから2020年3月末に比べて1,561百万円の減収になりました。業務粗利益(業務収益-預金支払利息等の原価)は、業務収益の減収に加えて、債券売却損が606百万円増加したことにより、2020年3月末に比べて2,096百万円の減益となりました。金庫の中核的業務から得られる資金利益(貸出金と有価証券の運用から発生する利益-預金支払利息)は、貸出金利回、有価証券利回など運用利回の低下により2020年3月末に比べて755百万円の減益となりました。

●業務粗利益、経費、業務純益(業務粗利益-経費等)、当期純利益



経費は、新型コロナウイルスの影響による各種イベントの中止などから2020年3月末に比べて69百万円の減少となりました。業務純益は、業務粗利益の2,096百万円減益に加え、業況が悪化した債務者に対する一般貸倒引当金繰入額が394百万円増加したことにより2020年3月末に比べて2,422百万円の減益となりました。当期純利益は、株式等売却益の増加や不良債権処理費用の減少により236百万円増益の1,793百万円となりました。

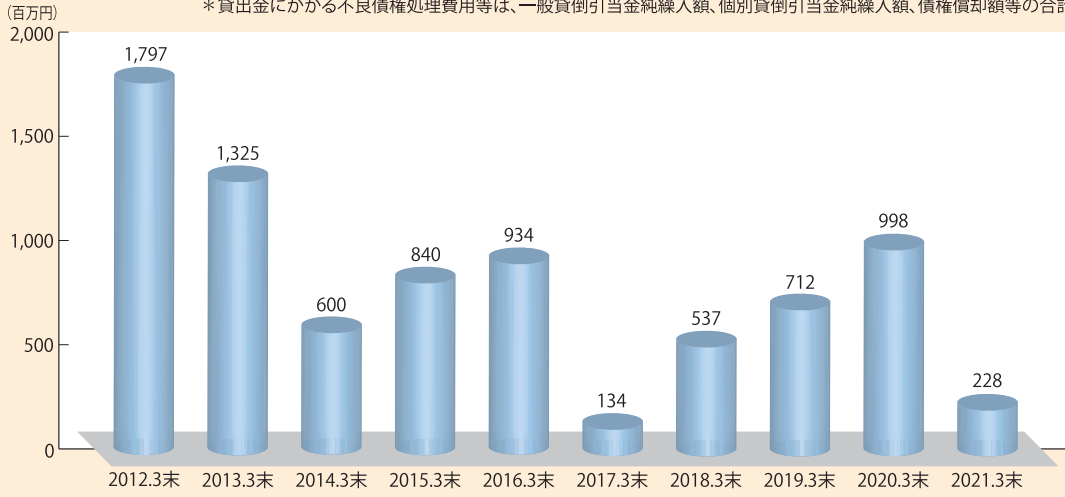
●資金運用利回(貸出金利回+有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや



資金運用利回は、低い市場金利の影響で債券利回りが低下し、また、新型コロナウイルス関連融資など低金利融資の増加により貸出金利回も低下したことから0.97%になりました。総資金利ざやは、資金運用利回りが低下したことから0.23%になりました。これからも収益力の強化に努めてまいります。

●貸出金にかかる不良債権処理費用等

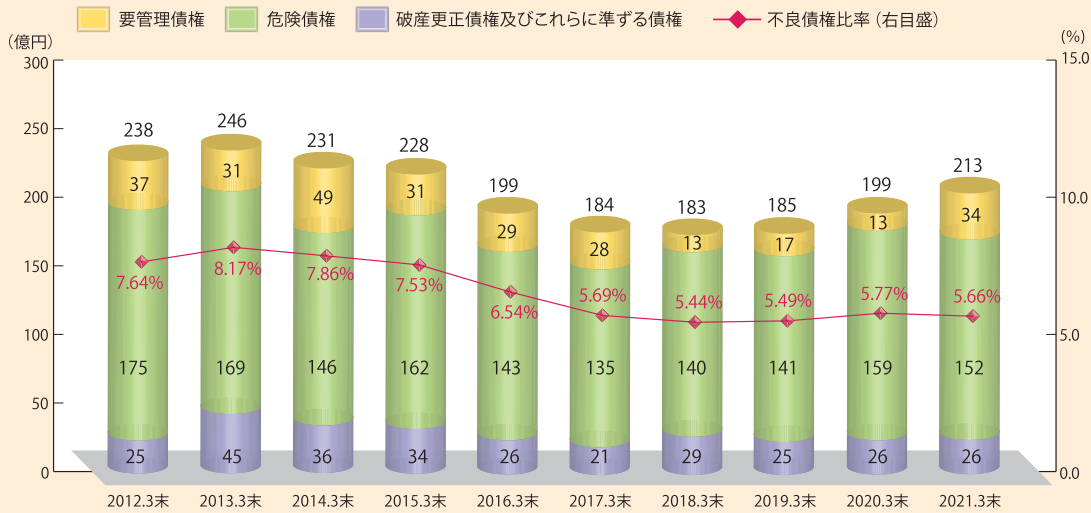
*貸出金にかかる不良債権処理費用等は、一般貸倒引当金純繰入額、個別貸倒引当金純繰入額、債権償却額等の合計額です。



2021年3月末の不良債権処理費用等は、2020年3月末に比べて大きく減少し228百万円となりました。これは、不良債権処理費用等が発生する目立った不良債権がなく、また、経営支援等による債務者区分の良化等もあり、不良債権処理費用等は、2020年3月末に比べ769百万円減少したものです。

今後も貸出債権の不良化防止に向けて、お客さまの課題についてきめ細かな支援を全力で取組むとともに、将来のためにも十分な引当を行ってまいります。

●不良債権(金融再生法上の開示債権)の内訳と不良債権比率

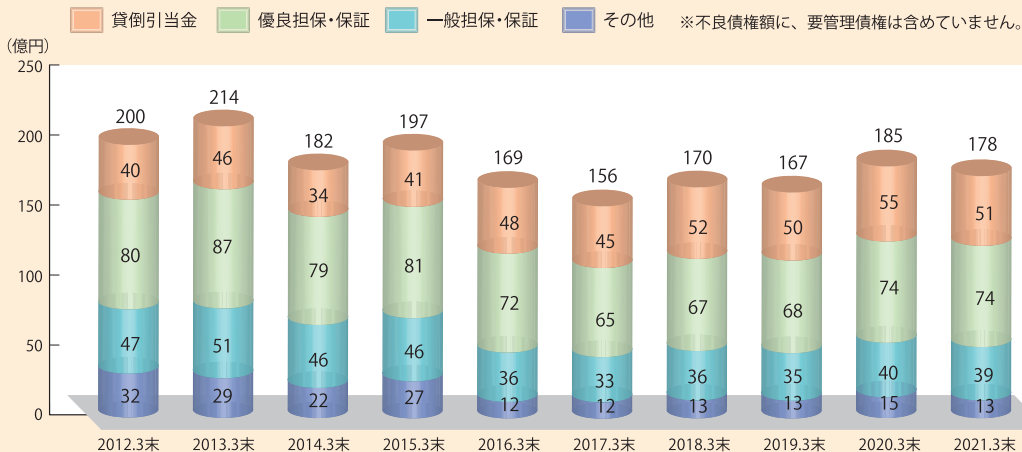


不良債権は、要管理債権、危険債権、及び破産更生等債権に分類されます。

2021年3月末の不良債権残高は213億円となり、新型コロナウイルスの影響等で貸出条件緩和債権が増加したことにより、2020年3月末に比べて14億円の増加となりました。しかし、積極的な融資の取組みで貸出金が増加したこと等により正常債権も大きく増加したことから、不良債権比率は5.66%と2020年3月末に比べて0.11ポイントの低下となりました。

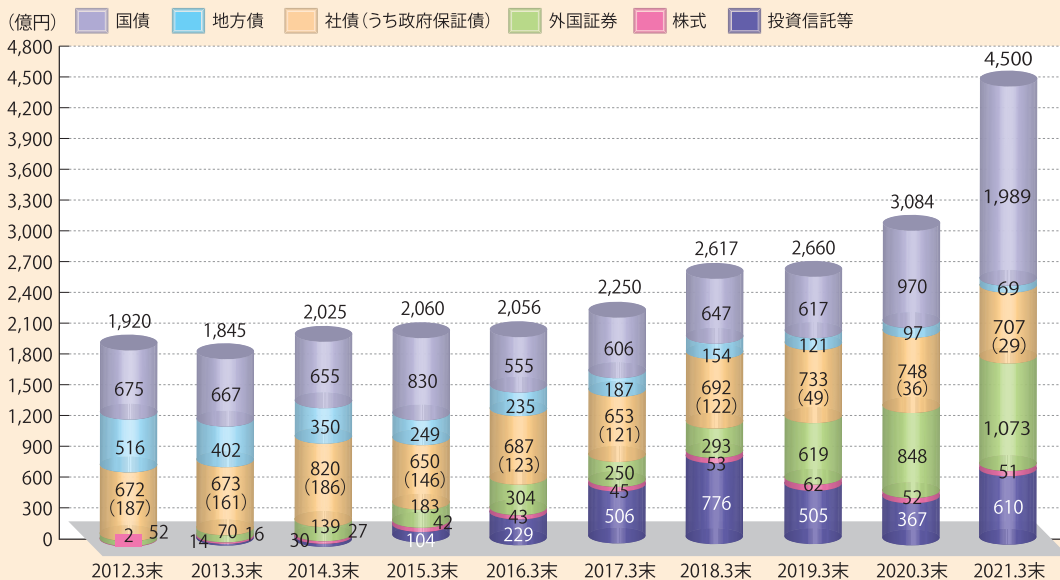
これからも、事業性評価や外部支援等を活用して、お客さまの経営改善に一体となって取組み、不良債権の減少に努めてまいります。

●不良債権(要管理債権を除く)の保全状況



2021年3月末現在の不良債権(要管理債権を除く)は178億円ありますが、その保全状況は上の通りです。貸倒引当金は51億円積んでいます。会計上51億円は損失処理済といえます。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている額が74億円、一般担保(土地・建物等)・保証で保全されている額が39億円、合わせて114億円は回収が確実であると見込んでいる額です。残りの13億円は、これまでの回収実績等から見て回収可能と見込まれる額です。

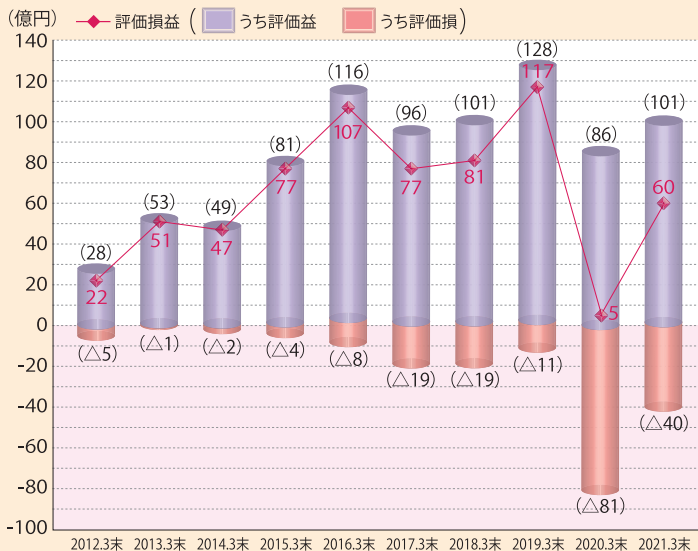
●有価証券の種類別保有状況



有価証券残高は2020年3月末に比べて1,416億円増加しました。

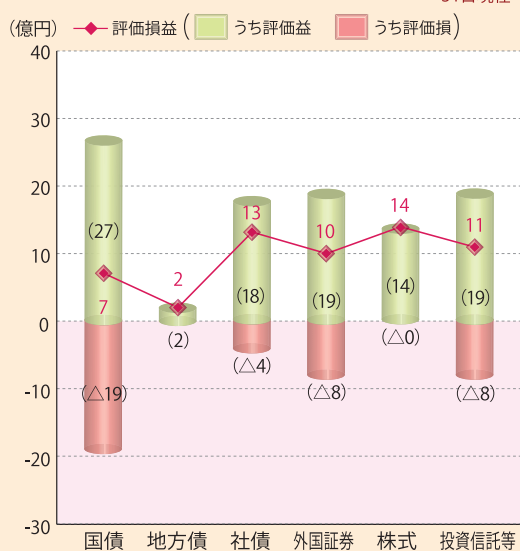
安全性を配慮して国債への投資を増やしていますが、低金利環境が続いているため、国内債に比べて利回りの高い外国証券や投資信託等にも分散投資しています。外国証券は単純な仕組みであり、全て円建てで為替変動により償還時の元本を毀損するものではありません。投資信託等は、主要先進国の国債を対象としたファンドを中心に分散投資しています。また、金利リスク、為替リスク、価格変動リスクなどのリスク管理態勢の強化に努めています。

●有価証券の評価損益の推移

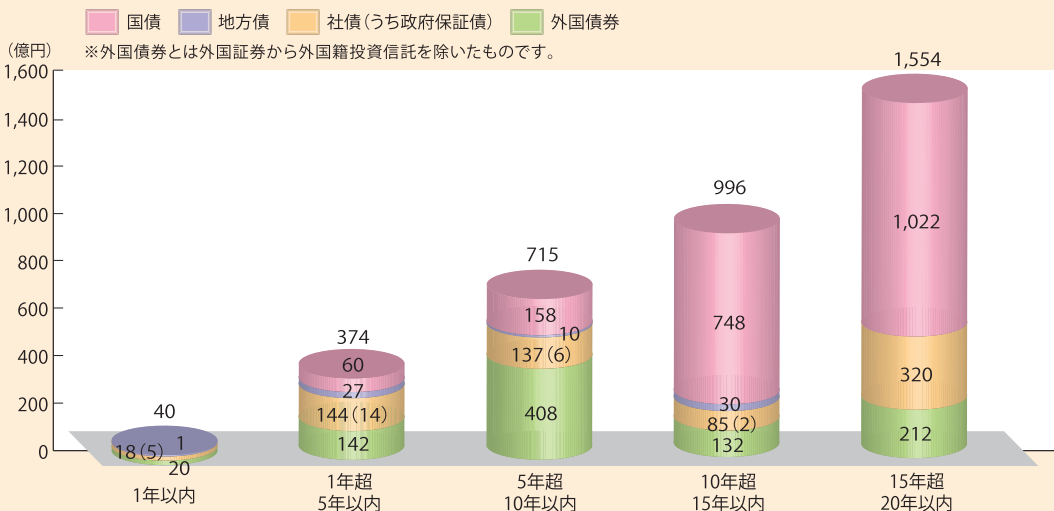


2021年3月末の有価証券の評価益は101億円、評価損は40億円、有価証券全体で差引60億円の評価益となっています。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受けた2020年3月末と比べて有価証券の評価損益は55億円の大幅な良化となりました。全ての種類で評価損益はプラスとなっています。

●有価証券の種類別の評価損益 2021年3月31日現在

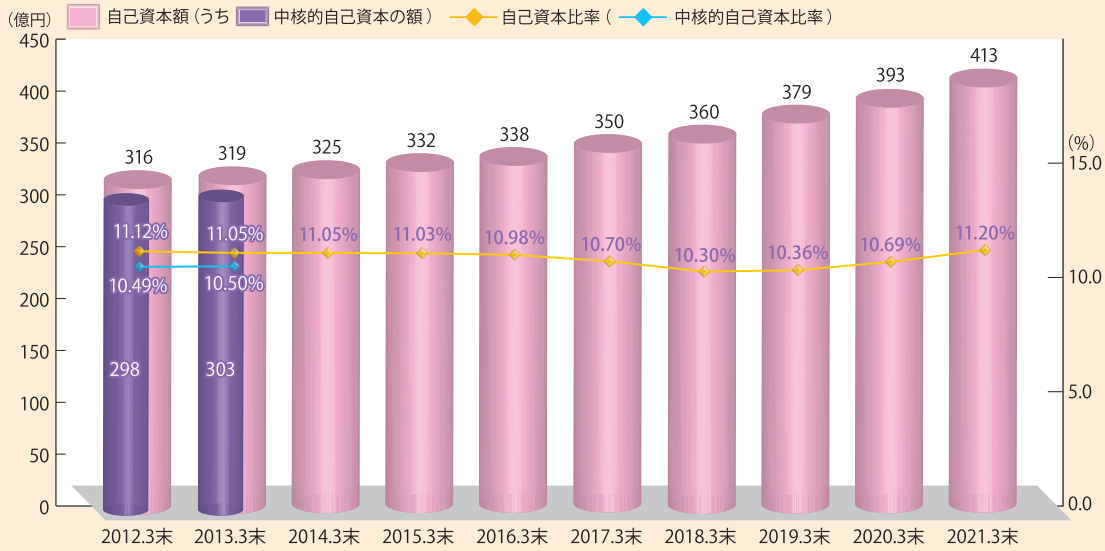


●債券(償還までの期間別に見た残高) 2021年3月31日現在



有価証券のうち株式及び投資信託等を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したグラフです。期間10年以内の国債の利回りは0%付近であるため、期間10年超20年以内の国債、地方債、社債、外国債券にも投資しています。なお、期間20年超の債券への投資は行っていません。

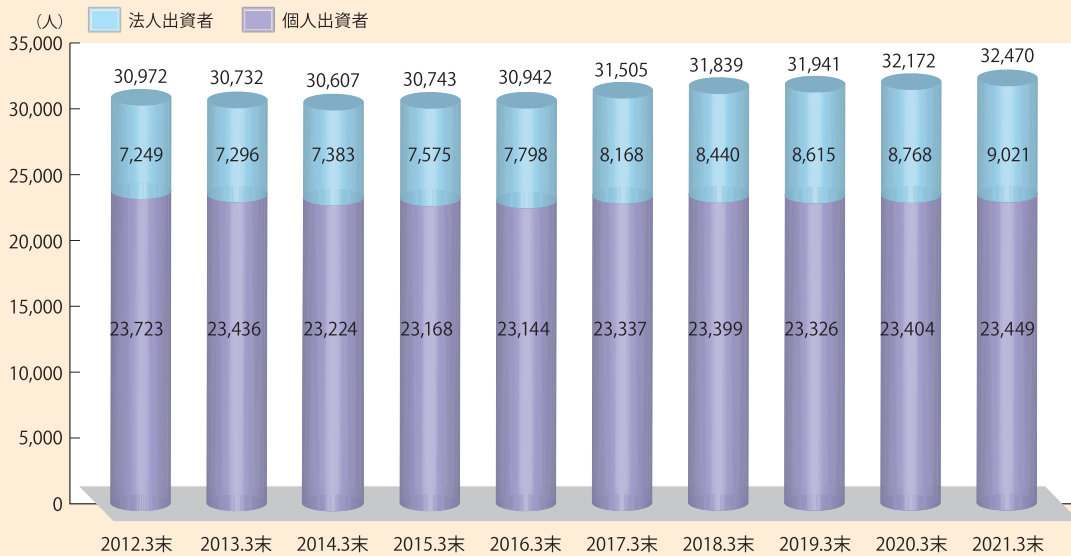
●自己資本と自己資本比率(信用金庫単体) *2013年度以降は新告示に基づく開示を行っています。



	2012.3末	2013.3末	2014.3末	2015.3末	2016.3末	2017.3末	2018.3末	2019.3末	2020.3末	2021.3末
リスクアセット	2,845	2,887	2,946	3,011	3,082	3,271	3,500	3,660	3,680	3,689

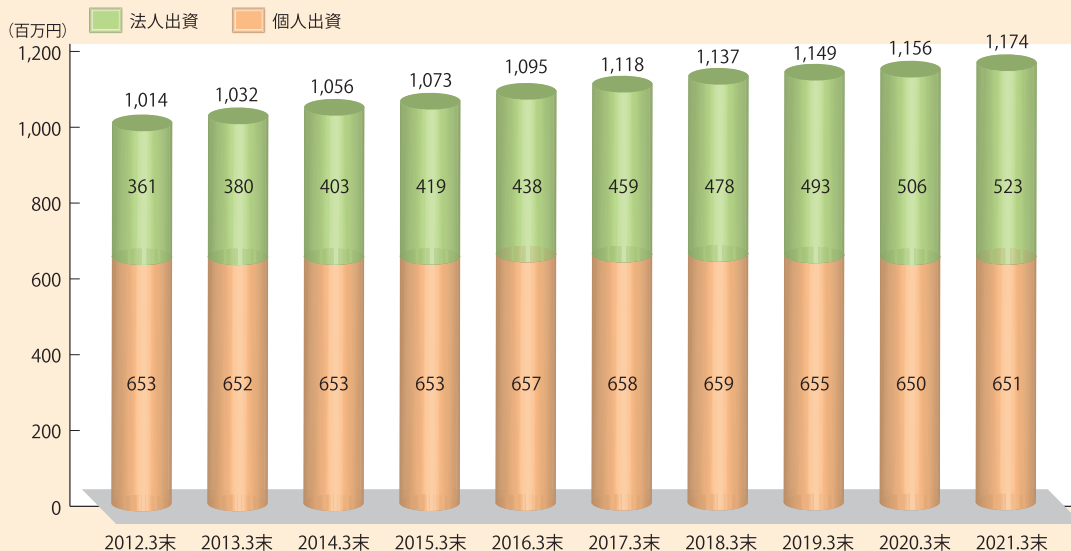
自己資本比率は、2021年3月末で11.20%となりました。
 <にっしん>の自己資本比率は、自己資本の額が20億円増加したことから、2020年3月末に比べて0.51ポイント向上しました。国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持していると考えています。
 これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。

●会員数



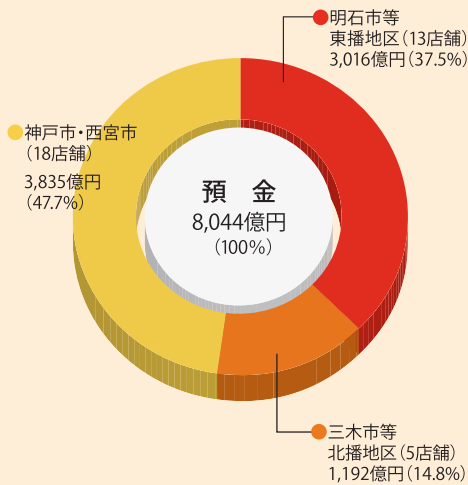
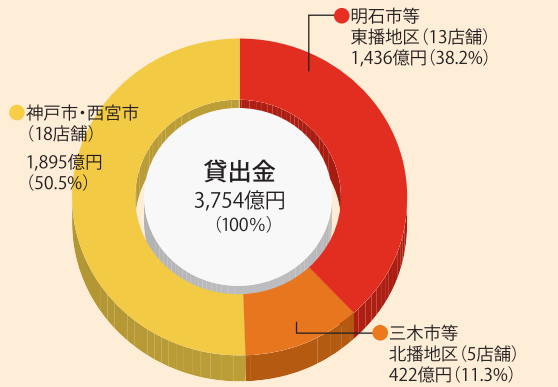
新規融資先の増加により、会員数が増加しています。

●出資金額



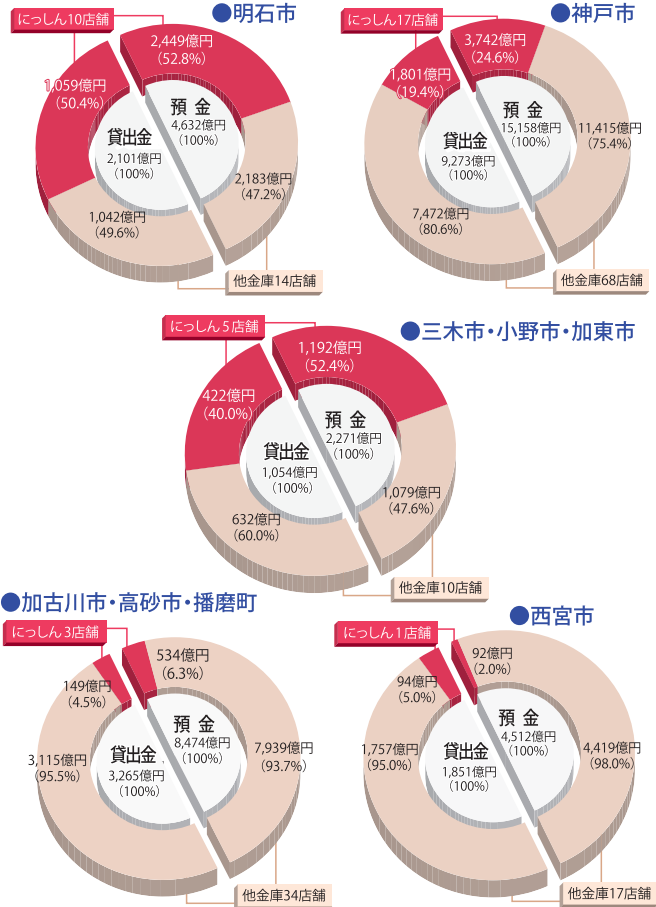
会員数の増加に伴い、出資金額も増加しています。

〈貸出金・預金の地域別構成〉 (2021年3月31日現在)



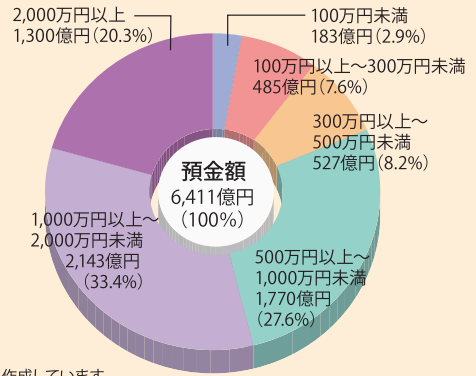
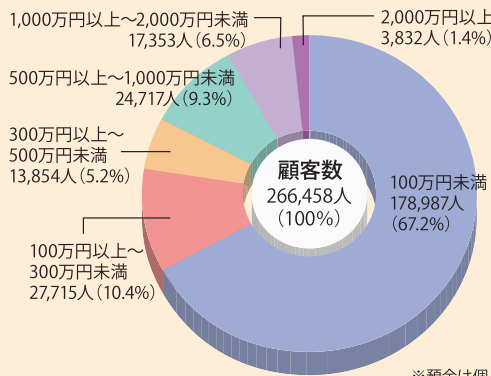
信用金庫業界での〈にっしん〉のシェア (2021年3月31日現在)

〈にっしん〉の営業地区内には多くの信用金庫が店舗を出しています。これらの信用金庫が保有する預金・貸出金中に占める〈にっしん〉の割合は次の通りです。



預金者のプロフィール (2021年3月31日現在)

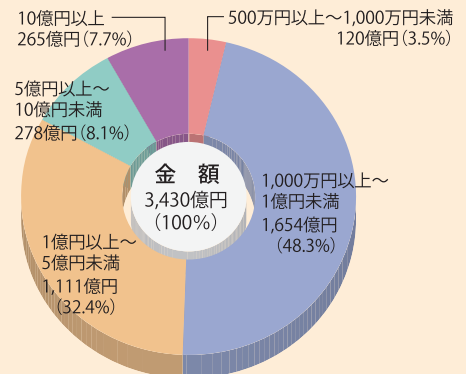
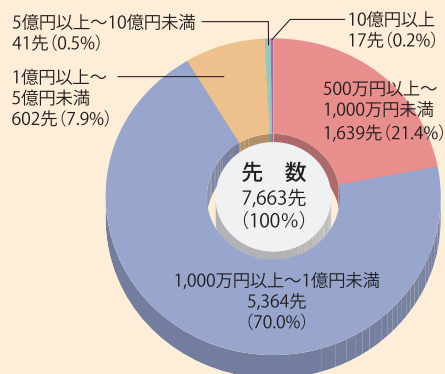
〈個人預金の残高階層別にみた顧客数と預金額〉



※預金は個人預金残高を対象に作成しています。

貸出先のプロフィール (2021年3月31日現在)

〈貸出金の残高階層別にみた先数と金額〉



※貸出金は残高500万円以上の会員を対象に作成しています。